

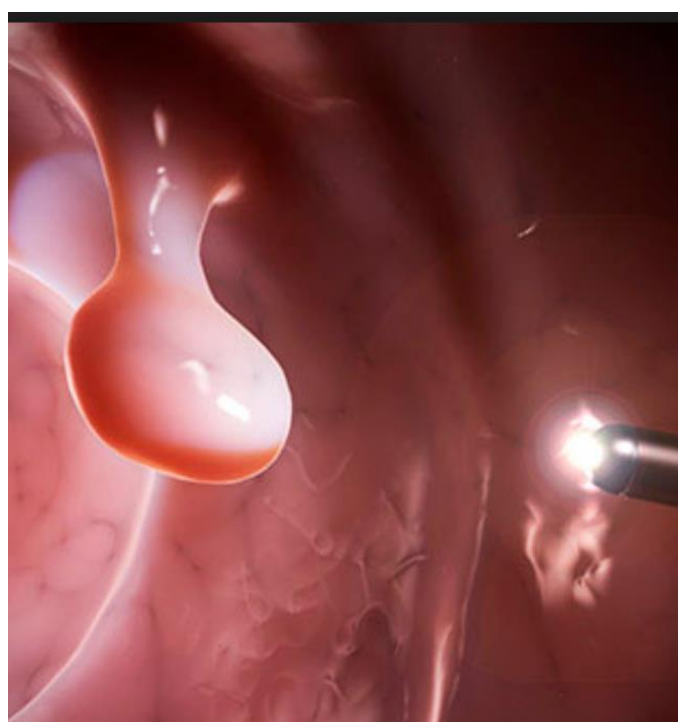
便潜血検査の特徴と大腸内視鏡検査について

便潜血検査（FOBT）には、以下の特徴があります。

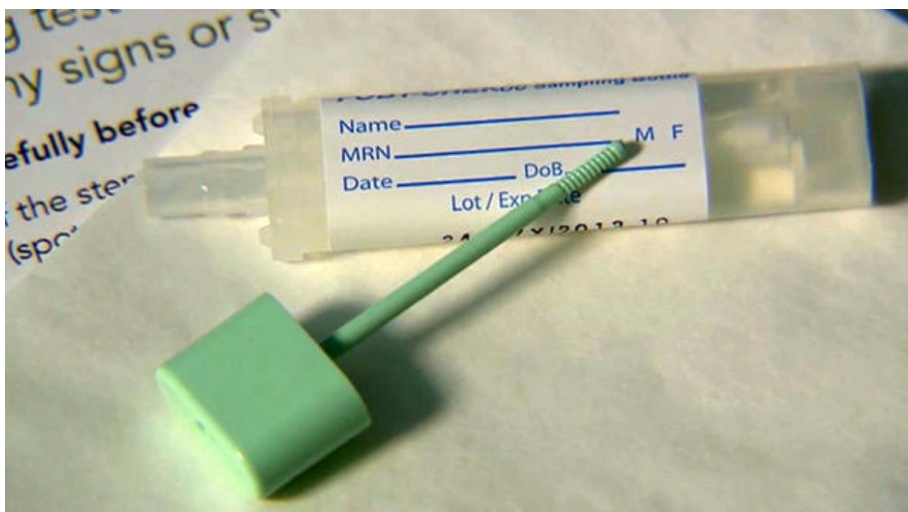
- 感 度；約 60（報告により 30～90%の幅あり）
- 特異度；約 90%
- 2 回法が主流
- キット、診断料金含めて数百円～数千円程度



ただし、前癌病変（腺腫など含むポリープ）の発見率は大腸内視鏡の方が FOBT よりも高いとされますので、精査は必ず大腸内視鏡を行うようにしましょう。



ちなみに、「上部消化管（胃や食道）の病気は基本的に影響しません」。一般的に用いられる免疫法は、従来の化学法と異なり、胃・膵液によって変性したヘモグロビンはほとんど検出しないとされています。そのため、上部消化管（胃や食道）からの出血や食物に含まれるヘモグロビンには基本的に反応しません。



便潜血陽性の方は、「半年以内に必ず」
大腸内視鏡検査を受けましょう。

